

前橋市監査委員公表第11号

前橋市長から工事監査の結果に対する措置について通知がありましたので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定により、別紙のとおり公表します。

令和3年9月24日

前橋市監査委員	根 岸 隆 夫
同	田 村 盛 好
同	中 林 章
同	小曾根 英 明

教育委員会事務局工事監査結果に係る措置通知書

措置日 令和3年9月6日

監 査 結 果 (指摘・要望事項)	指摘事項に対する措置内容及び 要望事項に対する考え方等
<p>【監査対象所属：教育施設課】</p> <p>1 設計委託業務に関する適切な指示及び検査について（指摘事項）</p> <p>下川淵公民館空調設備更新実施設計業務において、建築設計業務委託仕様書兼説明書で定められている提出する委託業務成果物等のうち、「コスト縮減比較検討表」、「概算工事工程表及び仮設計画」、「建築基準法に基づく確認済証」、「各関係法令に係わる各種許可及び認可の証明書」の取得に係る申請書、「営繕工事積算チェックシート」、「構造計算書」が提出されないまま、監督員が指示をせず業務完了報告書が受理され、前橋市設計業務委託等検査要綱第5条に基づく担当課（教育施設課）検査員による検査が合格となっていた。</p> <p>設計委託業務については、前橋市設計業務委託等監督要領第3条第1項にのっとり、設計図書（仕様書等）に基づき業務内容を把握し、契約の適正な履行を確保するとともに、前橋市設計業務委託等検査要綱第7条にのっとり、仕様書等に基づいて適正かつ厳正に検査を行うよう改善されたい。</p> <p>2 設計図及び施工図と完成品の違いについて（指摘事項）</p> <p>明桜中学校体育館ほか新築建築工事において、用務倉庫の木製棚が設計図及び施工図では3段であったが、完成品は2段になっていた。</p> <p>公共建築工事標準仕様書1章3節（1）にのっとり、設計図書に適合する工事目的物を完成させるために、適切な施工管理を行うよう改善されたい。</p> <p>3 必要のない平板載荷試験の実施について（要望事項）</p> <p>明桜中学校体育館ほか新築建築工事において、犬走り下の地盤の平板載荷試験を実施していた。設計図から求められる犬走り土間の荷重は6 kN/m²程度と小さく、また、設計者の判断で建物の構造耐力の検討を省略していることから、同試験は必要なかったと判断される。</p> <p>必要のない試験は省略し、工事費の削減を図るよう検討されたい。</p>	<p>本業務は、既存空調設備の老朽化に伴う更新のための設計であり、新たなコスト検討や仮設計画、建築基準法の確認済証、関係法令の許認可、構造計算等は必要が無く、業務委託料の積算にも計上しておりませんが、建築設計業務委託仕様書兼説明書に誤って記載してしまったもので、業務完了検査時も記載誤りである事を確認していました。</p> <p>積算に計上していないものなので提出していないことによる金額の変更はありませんが、設計図書の記載誤りに対する必要な手続きがなされていなかったので、書面による協議や変更の手続き等を行ったうえで、検査要綱にのっとり適正かつ厳正に検査するよう改善します。</p> <p>また、設計業務で必要となる成果物について記載誤りが無いように十分チェックを行い、設計図書を作成するよう改善します。</p> <p>施工図の承認後、改めて施設利用者と木製棚の利用方法を再確認した結果、備品類の収納方法や利便性を考慮し、変更の指示を行ったものですが、必要な手続きがなされていなかったので、設計変更した場合は、変更の協議及び手続を適切に行うよう改善します。</p> <p>基礎等の地盤耐力を確認する場合は平板載荷試験が必要ですが、犬走り下の地盤の沈下対策として行った表層改良についてご指摘のとおり平板載荷試験の必要はありませんでした。今後の設計にあたっては、試験の目的を十分考慮（理解）したうえで必要のない試験は省略し、工事費の削減を図るよう改善します。</p>

監 査 結 果 (指摘・要望事項)	指摘事項に対する措置内容及び 要望事項に対する考え方等
<p>4 経済設計に関する検討不足について（要望事項）</p> <p>永明公民館移転新築建築工事において、室内の柱を除くことを目的として図書館分館、多目的会議室、第一・第二会議室、料理実習室でPC梁を採用していた。PC梁は柱のスパン長を伸ばして広い空間の確保が可能となるメリットがある反面、高額な費用がかかるというデメリットもある。</p> <p>設計に当たっては、諸室の使用方法に適したものとするとともに、経済面も考慮した総合的な検討をされたい。</p>	<p>PC梁については、柱が無いことによるメリットが大きく、既に多くの市有建築物で目的に応じて利用されている技術であることから、永明公民館でも利便性などを考慮したうえでPC梁を採用しましたが、スパン長（柱間距離）の検討が不十分でした。</p> <p>今後の設計に当たっては、諸室の使用方法を十分に検討するとともに、経済性にも配慮した総合的な設計を行っていきます。</p>